

## 令和5年度第1回山形県公立大学法人評価委員会議事要旨

- 日時 令和5年8月3日（木）午前10時から正午まで
- 場所 山形県建設会館3階 中会議室No.1
- 出席者 <委員>  
出口委員長、間中委員、佐藤委員、澤邊委員、中村委員、前田委員、  
矢口委員  
<県>  
松澤総務部長、五十嵐高等教育政策主幹、高梨健康福祉企画課長 ほか  
<山形県公立大学法人>  
阿部理事長、渡辺理事、大和田理事、金光理事、菌部理事、松井理事 ほか  
<公立大学法人山形県立保健医療大学>  
上月理事長、熊谷理事、遠藤理事、佐藤理事 ほか
- 議事
  - (1) 山形県公立大学法人事業年度評価実施要領の改正について
  - (2) 令和4年度業務実績報告書に対する評価について
    - ① 山形県公立大学法人
    - ② 公立大学法人山形県立保健医療大学
- 審議経過
  - 1 開会
  - 2 あいさつ
  - 3 委員長選出  
出口委員が委員長に選出された。また、委員長代理に間中委員が指名された。
  - 4 議事
    - (1) 山形県公立大学法人事業年度評価実施要領の改正について  
山形県公立大学法人事業年度評価実施要領の改正について事務局から説明が行われ、  
原案どおり了承された。
    - (2) 令和4年度業務実績報告書に対する評価について
      - ① 山形県公立大学法人  
山形県公立大学法人から令和4年度業務実績報告書について説明が行われた後、  
大項目ごとに質問、意見交換をし、大項目別に評価を行った。業務実績評価書の取  
りまとめについては、委員長に一任された。

大項目別評価は以下のとおり。

大項目	評価
第2 の1	山形県立米沢栄養大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 4
第2 の2	山形県立米沢女子短期大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 3
第3	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置 4
第4	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置 4
第5	自己点検、評価及び情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置 4
第6	その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置 4

<主な意見>

**【入学者選抜について（栄養大）】**

- 一般選抜の志願者倍率の目標値4.6倍の決め方を教えていただきたい。（澤邊委員）  
⇒ 過去2年間の倍率の平均で決めている。（阿部理事長）
- 実績値である3.6倍が決して低いということではないと思うが、4.6倍という目標は、18歳人口が減っていく中では、かなり高い目標ではないか。（出口委員長）
- 大学から説明があったように学校推薦の倍率が上がっていて、合格者の学力も低下していないのであれば、大学の自己評価（A評価）のとおりで良いと思う。（間中委員）
- 生徒の志望を考えると、一般選抜で入学するのか、学校推薦で入学するのか、取合いになってしまうこともあると思う。学校推薦は絶対に入学したいということなので、学校推薦の倍率が伸びていることを評価したい。（佐藤委員）
- コロナ禍において、ほかの学校でも内部進学が伸びているので、その意味でも学校推薦の志望が多くなったと思う。大学側でも高校訪問などを強化している点を評価したい。（中村委員）
- 県外の志願者数が多いようなので、魅力のある大学だと思った。（前田委員）
- 志願者倍率が目標を下回ったことについては、学力水準などの分析を行っているほか、入試制度や広報に活かすために要因分析を行うとの記載もあるので、次回に活かしていただきたい。（矢口委員）
- この項目の根底にあるのが、アドミッションポリシーに合致した学生の確保であり、学校推薦についてもアドミッションポリシーに合致した学生を確保するのに有効であると思う。また、一般入試の学力水準も遜色ないということなので、入学者の質も確保されていると思う。（澤邊委員）

【県内就職率について（栄養大）】

- 卒業生の就職については、職業選択の自由があるので、ある程度県内に残っていただければ、県外に就職する学生がいてもやむを得ないのでないか。（間中委員）
- 記載にもあるとおり、県内の求人が減少したことも影響したのではないかと思う。目標値35%に対して、実績値32.5%は著しく低いということでもないのではないか。（澤邊委員）
- 卒業生の数からすると、1人違うとかなりパーセントが違ってくるのではないか。（出口委員長）
- 県立の大学として、県内就職者数を増やしたいという希望があるので、学生に対して、県内の企業や病院などの施設等の魅力を常に伝え、紹介している。コロナ禍で県外への就職を控える流れもあったが、令和4年度に関しては、県外に出ることがある程度できるようになったこともあり、前年度と比較すると逆の動きになったと考えている。（阿部理事長）

② 公立大学法人山形県立保健医療大学

公立大学法人山形県立保健医療大学から令和4年度業務実績報告書について説明が行われた後、大項目ごとに質問、意見交換をし、大項目別に評価を行った。業務実績評価書の取りまとめについては、委員長に一任された。

大項目別評価は以下のとおり。

大項目	評価
第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第5 自己点検、評価及び情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第6 その他の業務運営に関する目標を達成するためにとるべき措置	4

<主な意見>

【国家試験の合格率について】

- 数値目標の達成を目指していくための努力目標と捉えれば、数値目標に近い結果が出ているので、評価を下げる必要はないと思う。（間中委員）

【Wi-Fi環境の整備について】

- 医療機関の外来では、Wi-Fiが使える所も多く、全国的に普及しており、整備され

ているのが当たり前と思っていたが、敷地内全てでW i - F i が使える大学というのは少ないのか。(間中委員)

⇒ 敷地内全てで使用できるというのはあまりないと思う。(上月理事長)

○ 今回整備されたものは教職員と学生のみが使えるのか。(澤邊委員)

⇒ パスワードを設定しており、部外者は使用できない。(上月理事長)

○ ほかの大学の敷地内全てでW i - F i が使用可能なのか分からないが、これまで行っていなかったことを目標よりも前倒しで実施できたということなので、そのような点では、目標を十分に達成しており、Sという評価もあるのではないかと思う。(澤邊委員)

#### 【倫理委員会について】

○ 医療機関では必ず倫理に関する評価を実施しているため、大学の自己評価のとおり、A評価で良いと思う。(間中委員)

## 5 閉会